



ペレニアルライグラス チニタ

兼用利用向
中生品種



ペレニアルライグラスは再生力が強く、季節生産性が比較的平準で、牛の嗜好性が優れるイネ科牧草です。

「チニタ」の主な特長

- 出穂は中生の「ファントム」より 4 日早い
- 兼用利用時の 1 番草は多収
- 糖含量が高く、牛がよく食べる

栽培適地：北海道道
央、道北、道南の土
壤凍結の少ない地帯

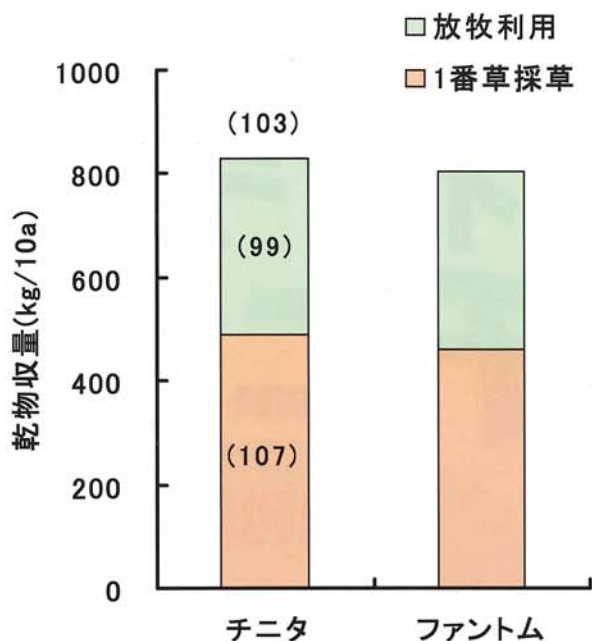


図 兼用利用時の乾物収量
()内は「ファントム」対比の指数

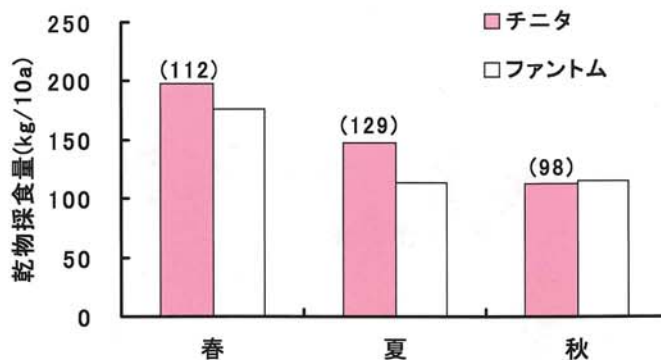


図 放牧適性検定試験における推定採食量
()内は「ファントム」対比の指数

表 兼用利用時の飼料成分(乾物中%)

分析項目		チニタ	ファントム
粗蛋白質 (CP)	1番草採草	10.4	10.2
	放牧利用平均	17.9	17.8
水溶性糖類 (WSC)	1番草採草	26.3	26.8
	放牧利用平均	12.2	10.5
可消化養分総量 (TDN)	1番草採草	67.3	67.7
	放牧利用平均	65.2	64.8

注) 可消化養分総量は推定式より算出。

○利用モデル

用途	品種名	牧区数	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
放牧専用 地	ポコロ	10	↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓		
兼用 地	チニタ	8	1番草採草			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓			↑ 放牧 ↓		

1番草のサイレー
ジ給与、牧区拡
大等

図 北海道北部における放牧専用・兼用地の利用モデル
放牧専用地に晩生の「ポコロ」、兼用地に「チニタ」を導入すると、
春から9月中旬頃まで牛に一定量の放牧草を与えることができます。

○栽培・利用上の注意

- ①栽培適地は、北海道北部、中央部および南部の冬期に土壤凍結しない地帯です。
- ②利用方法は1番草を採草し、その後放牧する兼用利用を主とします。
- ③造成後2年目の1番草で倒伏が発生する場合がありますので、採草時は適期に刈取って下さい。

【育成機関】 お問い合わせ：

北海道立総合研究機構 上川農業試験場 天北支場
技術普及室

TEL 01634-2-2111

FAX 01634-2-4686